

旧富良野高校跡地利活用

基本構想(案)

令和8年6月

旧富良野高校跡地利活用市民検討委員会

目次

第1章 策定の背景と目的

- 1-1 基本構想策定の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-2 基構想策定の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 旧富良野高校跡地の概要

- 2-1 旧富良野高校跡地の立地環境・・・・・・・・・・・・ 2
- 2-2 利活用の対象となる施設・・・・・・・・・・・・・・ 3

第3章 これまでの検討経過

- 3-1 基本構想策定までの経過・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3-2 市（庁内）での検討結果・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3-3 市民アイデアの募集結果・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 3-4 譲渡の前提条件の検討・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 3-5 市民検討委員会での検討経過・・・・・・・・・・・・ 8
- 3-6 議論を通じて、委員間で共有された利活用のキーワード・・・・・・・・ 9

第4章 基本構想

- 4-1 基本構想の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 4-2 利活用のコンセプト・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 4-3 期待したい機能と事業展開の方向性・・・・・・・・ 11

第5章 旧富良野高校跡地利活用市民検討委員会としての意見

- 5-1 今後の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

資料編

- 旧富良野高校跡地利活用市民検討委員会名簿
- 市民アイデア募集結果

第1章 策定の背景と目的

1-1 基本構想策定の背景

北海道教育委員会が策定した「公立高等学校配置計画（令和5年度（2023年度）～令和7年度（2025年度））」に基づき、令和7年3月31日をもって富良野高校は富良野緑峰高校と統合し、旧富良野緑峰高校校舎へ移転することとなりました。

これに伴い、長年にわたり本市の教育と地域の歩みを支えてきた旧富良野高校の校舎および敷地は、現在、北海道教育委員会所有の空き校舎・未利用地となっています。

旧富良野高校跡地は、市街地に近く利便性の高い場所にあり、また広い敷地を有していることから、その活用方法については市民の関心も非常に高く、富良野市の将来を考えるうえで重要な課題の一つとなっています。

人口減少や少子高齢化、地域経済の持続性といった本市が直面する課題を踏まえつつ、地域の特性や強みを生かし、将来にわたって市民の暮らしやまちの発展に役立つ形で跡地を利活用していくことが強く求められています。

1-2 基本構想策定の目的

こうした背景のもと、本構想の策定にあたっては、広く市民の意見を反映させることを重視し、公募および市内関係団体から推薦された委員で構成された「旧富良野高校跡地利活用市民検討委員会」（以下「市民検討委員会」という。）を設置しました。市民検討委員会では、市役所庁内において作成された「旧富良野高校跡地利活用庁内検討委員会報告書」に加え、市民の率直な意見や多様なアイデアを参考資料とし、令和8年（2026年）2月から同年6月までの間、計5回にわたる会議を重ね、跡地利活用の在り方について慎重かつ多角的な議論を行ってきました。

本基本構想は、これら市民検討委員会における検討および協議の成果を踏まえて策定したものであり、これまでの検討の経過と考え方を明らかにするとともに、旧富良野高校跡地の利活用を今後、総合的かつ計画的、さらに効果的に推進していくための指針として、利活用の基本理念やコンセプト、施設整備および運営に関する基本的な考えを提言するものです。

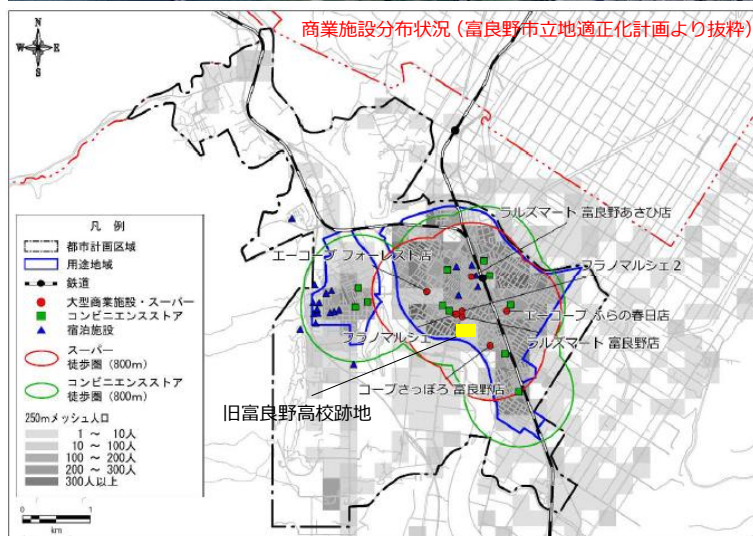
第2章 旧富良野高校跡地の概要

2-1 旧富良野高校跡地の立地環境

旧富良野高校跡地は、JR 富良野駅から約 1.0km の徒歩圏内にあり、国道 38 号にも面しています。周辺には商業施設や飲食店、コンビニエンスストア、医療機関など、日常生活に必要な施設が多く集まっており、市街地の中でも利便性の高い場所に位置しています。

このような立地条件を生かすことで、新たに整備する施設と市街地との人の行き来が生まれ、にぎわいや交流の広がりにつながることを期待されます。こうした考えのもと、旧富良野高校跡地の利活用に関する基本構想を策定しました。

土地	住所	富良野市末広町1番1号
	地目	学校用地
	面積	44,741.37 m ²
都市計画用途地域		第1種住居地域



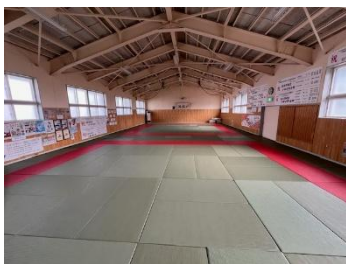
2-2 利活用の対象となる施設

利活用の対象となる主な建物は、管理棟（2階建）、校舎棟（4階建）、体育館、柔剣道場、記念館です。このうち、校舎棟は築38年、体育館は築37年、記念館は築36年が経過しており、建物の老朽化が進んでいます。

また、グラウンドやプールなどの屋外施設も利活用の対象に含まれます。市民検討委員会では、将来のニーズの変化に応じて、新しい使い方や機能を少しずつ追加していけるよう、最初から広い敷地やすべての施設を使い切る構想にはせず、まずは、管理棟・校舎棟・体育館など、中心となる建物の活用を優先して検討しました。

柔剣道場

構造 : 鉄骨造
延床面積 : 310.10 m²
建築年 : 平成13年11月（築24年）



管理棟(2階建)

構造 : 鉄筋コンクリート造
延床面積 : 2,022.26 m²
建築年 : 平成13年8月（築24年）



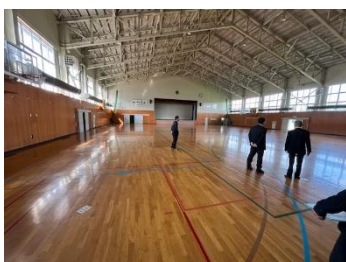
校舎棟(4階建)

構造 : 鉄筋コンクリート造
延床面積 : 4,012.76 m²
建築年 : 昭和62年1月（築38年）



体育館

構造 : 鉄骨造
延床面積 : 1,350.45 m²
建築年 : 平成元年12月（築37年）



記念館

構造 : 木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
延床面積 : 247.86 m²
建築年 : 平成2年9月（築36年）



第3章 これまでの検討経過

3-1 基本構想策定までの経過

市職員からのアイデア募集

将来に渡り富良野市政を担っていく若い職員を含め、幅広い意見を取り入れるため、職員からアイデアを募集したところ、具体的な利活用策 39 点、キーワード 75 点のアイデアが寄せられました

市(庁内)による検討

庁内に「旧富良野高校跡地利活用庁内検討委員会」を設置し、総合計画に示された課題の解決や各種計画・施策の推進に資するかどうか、また「公共施設等総合管理計画」における目標や方針との整合性も踏まえながら、議論の出発点となる素案を取りまとめました。

市民アイデアの募集

旧富良野高校跡地の利活用については、市民の関心が高いことから、また将来の公共施設のあり方を検討する参考とするため、市民からアイデアを募集しました。その結果、159 件もの提案が寄せられ、基本構想の策定に大きく貢献しました。

市民検討委員会での検討・協議

旧富良野高校跡地の利活用を検討するため、関係団体からの推薦や公募によって市民検討委員会を設置しました。市民から寄せられたアイデアなどを参考に議論を重ね、利活用のキーワードやコンセプトを整理し、それを実現するために必要な機能を検討した基本構想を策定しました。

職員アイデア

活用のテーマ

素案(たたき台)

市民アイデア

活用の方向性

キーワード整理

コンセプト・機能

基本構想

3-2 市(庁内)での検討結果

市では、旧富良野高校跡地の利活用について検討するため、旧富良野高校跡地利活用庁内検討委員会を設置し、将来の公共施設の在り方を見据えるとともに、富良野市公共施設等総合管理計画の考え方を踏まえながら、利活用の方針について検討を進めてきました。検討にあたっては、今後の人口の推移や各公共施設が抱える課題、施策を進めるために必要となる施設整備の在り方などについて、職員からも幅広くアイデアを募り、意見の整理を行いました。これらの議論の結果を取りまとめた報告書は、旧富良野高校跡地の利活用を検討するためのたたき台として共有されました。

■庁内検討委員会報告書の概要

利活用検討の前提条件

- ①北海道からの無償譲渡の条件に合致する利活用方法とする(※)
- ②将来世代に負担を先送りしないため、公共施設の複合化等の検討により、効率的な施設運営を図る
- ③複合庁舎が持つ機能との重複は避けた整備とする

※無償譲渡の条件：行政財産として、公用・公共用目的での利活用

検討経過・内容(詳細は庁内検討委員会報告書参照)

- ①日本語学校設置の可能性を検討
- ②職員アイデア募集
- ③移転・複合化可能な施設の検討
- ④新施設が担うことが期待される機能の検討
- ⑤新たに整備したい機能の検討

市としての素案(たたき台)

利活用コンセプト

「学び、集い、つながり」でWA!がまちを育てる学びの総合拠点

基本方針

1. 学びの機能集約により新たな学びを創出し、学びのまち度UP
2. 遊びの拠点化で交流を生み出し、まちなか魅力度UP
3. 施設の複合化で多世代がつながり、まちの共創度UP

利活用の方向性

旧富良野高校跡地の整備にあたっては、「学び、集い、つながり」をキーワードに学びの機能を複合化した施設をコンセプトとしました。学びが中心となることで、特定の利用者だけではなく、全世代の利用が見込まれ、多世代間の交流が期待できます。さらに、将来的には時代に合った新たな機能の追加も可能となります。旧富良野高校の立地条件を最大限生かすことで、多世代がつながり、新たな交流や賑わいを生み出しまちなかの魅力UPにも貢献できると考えます。

利活用策

- ①図書館を中心に、ふれあいセンター・女性センターとの複合施設
- ②交流機能として、屋内外の子どもの遊び場を設置
- ③校舎棟3・4階は防災備蓄品や永年保管文書等の行政用の倉庫として活用

3-3 市民アイデアの募集結果

募集内容 ①選択肢から利活用の方向性を選択（3個まで）②アイデアの自由記載
 募集方法 記入方式（市役所、各支所、図書館） Web方式
 募集期間 令和7年12月1日～令和8年1月9日
 応募総数 159件（記入方式：25件 Web方式134件）

庁内検討委員会における検討結果に加え、幅広く意見を伺うため、市民アイデアの募集を実施し、その結果を参考に議論を進めました。募集の結果、10代から30代の方々からの回答が全体の46%を占め、特に10代の回答率が28%になるなど、若年層を中心に本跡地の利活用に対する関心の高さがうかがえる結果となりました。これらの市民アイデアには、旧富良野高校跡地の利活用に対する期待や課題が具体的に記載されており、市民検討委員会としても、いただいたアイデア（特に10代）を一つでも実現したいとの思いで、各回の議論において積極的に活用してきました。多様な立場や世代から寄せられた意見はいずれも有益な内容で、基本構想をまとめるうえで重要な参考資料となりました。以下では、そうした市民アイデアを内容ごとに整理し、代表的な意見をカテゴリ別に抜粋して掲載しています

■アイデア抜粋

カテゴリ	年代	意見抜粋（要約）
子育て支援 子どもの遊び場	40代	校庭を開放し冬季に屋外遊びができるようにしてほしい。小さい子どもも遊べるスノーパークとして整備
	20代	市役所にへそキッズランドがあるが、遊び場としては少し物足りなさを感じる。高校の跡地だと広さがある。
スポーツ	10代	子供から大人まで楽しめる遊べる場所や市のみんなが遊んで楽しめるスポーツができる場所
	20代	体育館を利用して、ボルダリング施設を作って欲しいです。市民の健康維持、子どもの習事などが期待されます。
公園・緑化	60代	建物はすべて除却し、多目的に活用できる遊歩道や更地がある公園として整備されることを望みます。
	50代	富良野の観光閑散期である春、秋の集客を目的として、グラウンドに2つの樹木鑑賞エリアを作る。
多目的施設	50代	子供や若者が思いっきり遊べる場所(体育館)や、コーヒーやお茶を飲みながらゆっくり本を読んだり音楽を聞いたりできる場所、若い人たちが受験や試験勉強に使えるスペース、外国人と日本人の住民が交流できる空間(語学教室やイベント、展示)など、楽しく学べて集える新しい「みんなのがっこう」ができるといいと思います
	50代	地域の小さな子どもからお年寄りまでが気軽に立ち寄り、ゲームをしたりお茶を飲んだりしながら交流できる憩いの空間も設けていただきたいです。

社会教育施設	50代	札幌市青少年山の家のような教育宿泊施設にして欲しい。社会教育など豊かさを育む、人材を育てる場にして欲しいです。
	60代	郷土館を移転し市民や観光客がゆっくり食事したりするフードコートのようなものを作り子供たちが遊べる公園も整備するといいなあとと思います。あと、以前の文化会館にはあった和室や調理室があると色々な催しができるのではないかと思います
文化・芸術	50代	アーティスト・イン・レジデンス事業を中心とした文化芸術施設。旧富良野高校跡地を、創作活動を行う人々が「気軽に」富良野の地で活動し、その魅力を発信できる拠点として活用できたら、より一層、富良野の魅力が豊かに膨らむのではないかと思います。
	40代	高校の跡地の活用として、市外や北海道外から訪れるアーティストや若者が滞在できる宿泊・創作施設としての活用を提案します。
観光・交流	70代	道の駅又は街の駅子どもが遊べて年寄りも毎日のように来て話が出来るところ。カフェなども。市民の広場みたいな感じ。直売所なども。
	40代	富良野にはドッグランがありません。雪がない季節は外の散歩ができますが、雨の日や冬に散歩ができなくて、困っている声を多く耳にします。
商業・飲食・宿泊	40代	旭川まで行かなくても楽しめるイオンモール的な娯楽施設を希望します。
	30代	富良野近郊にない、ボルダリングジムや、商業施設を併合した都市型アウトドア施設、子ども向けの大型アスレチックパーク等があるともっと多くの人々が富良野に集まると思います。
学校・教育機関	30代	この先の未来を考えると、跡地に中学校統合で大きく開校することが出来れば、これから少子化が更に進むことを踏まえて、小中一貫校も後に検討できると思います。
	30代	富良野から若い人がどんどん流出してるので、大学や専門学校にしてほしいです。学生として住んでくれたら、すみ続けてくれる人もできるかもしれません。
高齢・介護・福祉	30代	大型の介護施設はどうでしょうか？ すべての介護施設を市で管理運営できるように一つにまとめてしまっって大きな施設を作るという感じです。
	70代	校内を主に全天候型(年中)の健康づくり運動ができる対策をとって欲しい。
その他	40代	まちづくりの拠点になることを期待します。
	10代	観光客向けではなく、地域の人向けに

3-4 譲渡の前提条件の検討

議論を進めるにあたり、まず旧富良野高校跡地の譲渡を受ける際の前提条件について整理しました。北海道から示された譲渡の条件は、大きく三つに分けられており、取得方法によって、その後の活用の自由度や財政的な負担が大きく異なることが分かりました。市民検討委員会では、跡地を取得した後の維持管理に要する費用や、市民の学びや交流の場として公共的に活用していくことの重要性を踏まえ、それぞれの条件を比較しながら、どの取得方法が望ましいかを慎重に検討しました。

その結果、将来にわたって過度な負担が生じない運営管理や、市民に広く利用される施設として活用を進めるには「無償で譲り受けることができること」を前提に利活用の検討を進めることが適切であるとの結論に至りました。

譲与（無償）	譲渡（有償）	公売
<ul style="list-style-type: none"> ○市が主体となり、公用・公共用施設として使用 ○指定管理可 ○利用料の徴収可 ○営利目的不可 	<ul style="list-style-type: none"> ○一部、又は全部を民間への貸出（テナント含む） ○既存施設を解体し、新たに建設した建物の民間への貸出 有償：15億円＋補助金返還相当額（概算）	<ul style="list-style-type: none"> ○取得を希望しない ○部分的な取得を希望 ○譲渡後民間へ転売 ○敷地内に民間が施設を建設

3-5 市民検討委員会での検討経過

回数	開催日	議題
第1回 (令和7年度第1回)	R8. 2. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付 ・市長あいさつ・委員職員自己紹介 ・正副委員長選出 ・諮問 ・委員長あいさつ ・委員会の目的とスケジュール ・譲渡の条件 ・市民アイディア、庁内検討委員会報告について ・旧富良野高校跡地利活用についての意見交換
—	R8. 2. 26 R8. 3. 2	旧富良野高校跡地見学
第2回 (令和7年度第2回)	R8. 3. 12	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回市民検討委員会の振り返り ・譲渡方法の検討 ・利活用のキーワード出し
第3回 (令和8年度第1回)	R8. 4. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回市民検討委員会の振り返り ・コンセプト、機能の検討
第4回 (令和8年度第2回)	R8. 5. 29	基本構想（案）策定
第5回 (令和8年度第3回)	R8. 6. 8	基本構想（案）策定

3-6 議論を通じて、委員間で共有された利活用のキーワード

カテゴリ	キーワード
学び	学校としての活用
	ガイド・インストラクター・外国語習得等の人材育成の場
	学びをコンセプトの中心に
	学び舎は学び舎として使う
	学習スペース
	体験の場
つながり・交流	子ども向けに使える施設
	子どもたちが集まれる場所
	子どもの遊び場
	人と人のつながり
	世代を超えて支えあえる空間
	つながり・交流・集える場
	ボランティア活動の拠点
	市民のための施設
	合宿のマチ
	住民の QOL の向上
	憩いの場
	幸せを感じる
年代を問わず幅広く使える施設	
施設機能・空間	貸室
	フリースペース
	使いやすいスペースを時間貸し
	オープンなスペース（圧迫感をとりはらう）
	施設の集約・コンパクト化
	機能の集約
	カルチャーセンター
	ボルダリング・スケートボード
富良野の真ん中	
運営・課題・その他	建物全体を使い切るのは難しい
	セキュリティ
	学校統合
	街中の駐車場不足
	グラウンドは野球を中心に活用
	一つでも良いので、市民アイディアの 10 代の回答を実現

第4章 基本構想

4-1 基本構想の考え方

市民検討委員会では、庁内検討委員会が取りまとめた報告書や市民アイデアを参考資料とし、市民目線で基本構想を検討しました。検討にあたっては、北海道から示された無償譲渡を前提とした条件を踏まえ、市が主体となって公共的に活用していくという基本的な枠組みを共有するとともに、施設規模の大きさや老朽化の状況、将来的な維持管理費など、利活用に伴う現実的な課題についても確認しました。

市民検討委員会では、庁内検討委員会報告書を完成した計画ではなく、検討を進めるためのたたき台として位置付け、市民アイデアや委員会での議論、現地見学を通じて感じた意見・イメージを整理し、細部にわたる個別具体の提案よりも、それらに共通して表れている考え方やキーワードを洗い出すことを重視しました。現地確認の結果、校舎や体育館、グラウンドはいずれも規模が大きく、すべてを一度に利活用することは難しい一方で、比較的早期に活用可能な施設もあることから、段階的に利活用を進めていくことが現実的であるとの認識が共有されました。

利活用の方向性については、「子どもや若い世代が日常的に利用できる場」「人と人が自然に集い、交流やつながりが生まれる場」とすることを重視すべきとの意見が多く出されました。こうした議論を通じて、「学び舎は学び舎として使う」「子どもの遊び場」「人と人のつながり」「フリースペース」といったキーワードが、市民の関心や期待を示すものとして整理し、旧富良野高校跡地を「学び」を中心としながら、「集い」や「交流・つながり」を生み出す拠点として位置付けていく方向性が委員間で共有されました。市民アイデアは、年代や立場の異なる多様な視点から寄せられた貴重な意見として受け止めていますが、すべてのアイデアを実現することは難しいことから、本委員会では、個々の提案の実現可否を判断するのではなく、そこに共通して見いだされる考え方や方向性を整理し、基本構想に反映することを基本としました。具体的な施設内容や整備手法については、今後、行政において財政状況や法規制、既存施設との役割分担等を踏まえながら検討されることが適切であると整理しました。

以上の検討を踏まえ、本委員会では、庁内検討委員会報告書や市民アイデアに議論を深める中から抽出された利活用のキーワードを重ね合わせ、旧富良野高校跡地を将来にわたり市民が誇りを持てる「学びと交流の拠点」として利活用していくため大きな方向性を基本構想として取りまとめました。

4-2 利活用のコンセプト

「学びが出会いを生み、まちとひとを育てる交流拠点」

旧富良野高校は、1926年に設立された富良野実科高等女学校を起点に、時代の変化とともに姿を変えながら、長年にわたり富良野における教育と人づくりの中心的な役割を担ってきました。本跡地には、地域とともに歩んできた「学び舎」としての歴史や記憶が刻まれており、これらを大切に受け継ぎながらも新たな役割を果たす場として活用していくことが求められています。

本基本構想は、旧富良野高校跡地が単なる施設の再利用ではなく、子どもから高齢者まで、世代や立場を超えた市民が日常的に集い、学び合うことで交流やつながりを創出する、新たな拠点となることを期待しまとめました。学びや交流から、人材育成や地域課題の解決、さらには地域全体のにぎわいや活力の創出へとつなげていくことを期待し、「学びが出会いを生み、まちとひとを育てる交流拠点」をコンセプトとしました。

4-3 期待したい機能と事業展開の方向性

旧富良野高校跡地の利活用にあたり、将来にわたって市民の学びや交流の場となることを期待し、新たに整備される施設に期待する機能について整理し、提案します。

機能	期待する効果	事業展開例
学び	旧富良野高校跡地を、「誰にでも開かれた学びの拠点」とすることで、世代や背景の異なる人々が出会い、多様な学びの機会が生まれ、相互に刺激を受けながら学び合える環境につながることを期待されます。 これにより、人材育成や市民の主体的な活動が促進され、地域力の向上につながるるとともに、旧富良野高校が果たしてきた学びの場としての役割を次世代へ継承することが期待できます。	日本語教室 語学教室 高齢者教育 等
交流	市街地に近く、気軽に立ち寄れる立地特性を生かし、「フリースペース」や交流スペースを整備することで、多世代が自然に集い、交流やつながりが生まれる場となることを期待します。 市民検討委員会では、「年代を問わず幅広く使える」ことや「つながり・交流・集える場」が重要であるとの意見が多く出されました。日常的な利用を通じて、人と人との関係性が育まれ、新たな交流が生まれることを期待します	多世代交流 運動公園 飲食スペース 等

貸室	利用目的を限定せず、誰もが利用しやすい開館時間の柔軟な貸室を整備することで、学習、体験教室、地域イベント、ボランティア等の団体活動など、市民に開かれた施設となり、まちなかの新たなにぎわい創出にも寄与することを期待します。	地域イベント 自習室 体験教室 等
遊び場	「屋内外の子どもの遊び場」は、市民アイデアや委員会の議論において特に要望の多かった機能です。天候や季節に左右されず、のびのびと身体を動かせる環境を整備することで、子どもの健やかな成長を支えるとともに、子育て世代にとって魅力あるまちづくりにつながることを期待されます。 また、「体験的な遊び」や活動を通して、子ども同士や「世代を超えた交流」が生まれることも、大きな効果として挙げられます。	全天候型子どもの遊び場 等

第5章 旧富良野高校利活用市民検討委員会としての意見

5-1 今後の進め方

本構想は、市民検討委員会が限られた期間と条件の中で、市民や地域の思いを踏まえながら取りまとめたものであり、今後の具体的な計画策定や施設整備は、市において検討・判断されることとなります。その際、本委員会での議論の経過や、市民アイデアに込められた思いが十分に尊重され、本構想の趣旨が将来にわたって生かされることを強く期待します。

市民検討委員会として、今後の検討にあたって特に尊重してほしい事項を、以下のとおり整理しました。

1. 基本構想の考え方を尊重した計画策定を行うこと

具体的な施設機能を検討する際には、本構想で整理した「学びを中心とした交流拠点」という考え方や、市民が日常的に利用できる場とする視点を損なわないよう留意してください。特に、屋内外の子どもの遊び場は市民アイデアでも多くの要望があることから、その規模等も含めて留意してください。

2. 市民参加・意見反映の機会を継続的に設けること

今後の計画策定や施設整備の各段階においても、出来る限り市民や関係団体の意見を丁寧に聴く機会を設け、市民が主体的に関われる仕組みを継続してください。

3. 財政状況を踏まえ持続可能な事業推進を図ること

本構想で旧富良野高校跡地利活用の方向性を示しましたが、具体的な計画策定・施設整備にあたっては、市の財政への影響を十分に考慮し、過度な市民負担とならないよう、持続可能な財政運営との整合を図りながら慎重に検討を行ってください。

4. 長期的な視点に立った利活用をすること

旧富良野高校跡地は市の中心に位置し、譲渡後は市民の大切な財産になります。既存建物を含め広大な敷地の利活用にあたっては、長期的な視点で検討を進めてください。

資料編

資料1 旧富良野高校跡地利活用市民検討委員会名簿

資料2 市民アイデア募集結果

資料 1

旧富良野高校跡地利活用市民検討委員会委員名簿

自 令和8年2月1日

至 諮問に関する調査審議が終了する日

NO	氏名	職場団体等	備考
1	濱 本 渉	富良野市社会福祉協議会	団体推薦
2	遠 藤 和 章	ふらのスポーツ協会	団体推薦
3	篠 嶋 慎 一	富良野市文化団体協議会	団体推薦
4	大 橋 修 一	富良野市社会教育委員会議	団体推薦
5	吉 中 文 也	山部地区総合振興協議会	団体推薦
6	寺 島 聡	東山地域連絡協議会	団体推薦
7	出 合 亜 希	富良野市子ども子育て会議	団体推薦
8	中 村 吉 明	ふらの観光協会	団体推薦
9	軽 米 達 也	富良野商工会議所	団体推薦
10	及 川 貴 寛	富良野青年会議所	団体推薦
11	中 村 秀 人	ふらの農業協同組合	団体推薦
12	谷 山 千 代		公募委員
13	生 駒 大		公募委員

○事務局

1	関 澤 博 行	富良野市総務部長	
2	上 坂 雅 史	富良野市総務部財政課長	
3	墓 田 将 之	富良野市総務部財政課主幹	

旧富良野高校跡地利活用 市民アイデア募集

持続可能で未来につながる、そんな富良野にとって有益な旧富良野高校の利活用方法を検討しています。広く市民の皆様アイデア等を募集しますので、たくさんのひらめきをお寄せください！

募集内容 利活用の方向性（選択肢）・利活用アイデア（自由記載）
※施設全体の利活用でも、一部の施設の利活用でも結構です

募集期間 令和7年12月1日（月）～令和8年1月9日（金）

提出方法 ①応募フォーム <https://www.harp.lg.jp/GGmHbrxP>
②応募用紙 市役所・山部支所・東山支所・図書館にあります
③QRコード



連絡先 財政課（39-2306）

その他 ○お寄せいただいたアイデアは、検討の参考とさせていただきますが、必ず採用されるわけではないことをご了承ください。

旧富良野高校跡地利活用 アイディア応募シート

設問1

年代を教えてください □に✓を入れてください

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

設問2

旧富良野高校跡地の利活用について、どのような方向性が良いか教えてください。

3個以内で選んでください

- 子どもが遊べ、親子でのびのび過ごせる場
- カフェなど飲食が楽しめる場
- 身体を動かしたり、健康づくりができる場
- 美術館や博物館などの文化芸術に触れることができる場
- 新たなビジネスを生み出す場
- 社会人の学び直しができる場
- 市民活動の拠点となる場
- 多文化共生・交流の場
- 高齢の人や障がいのある人が集える場
- スポーツ施設
- 図書館
- 観光施設・キャンプ場
- 利活用はしなくて良い
- その他

設問3

旧富良野高校跡地の利活用アイデアをご記入下さい

ご協力ありがとうございました

市民アイデア募集結果

旧富良野高校跡地の利活用について、市民検討委員会での議論の参考とするため市民アイデアを募集した結果を集計しました。

募集内容 ①選択肢から利活用の方向性を選択（3個まで）②アイデアの自由記載

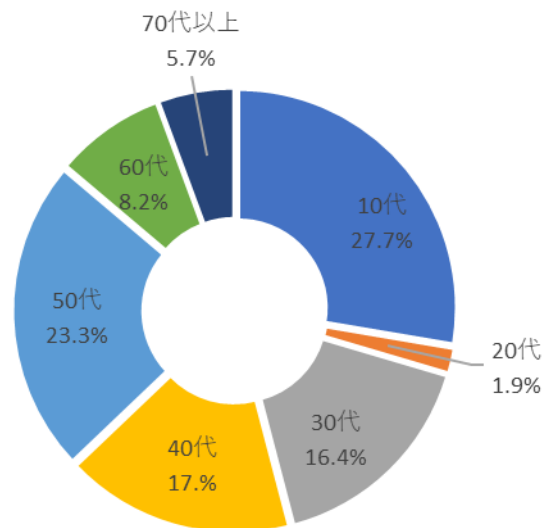
募集方法 記入方式（市役所、各支所、図書館） Web方式

募集期間 令和7年12月1日～令和8年1月9日

応募総数 159件（記入方式：25件 Web方式134件）

1. 年代割合

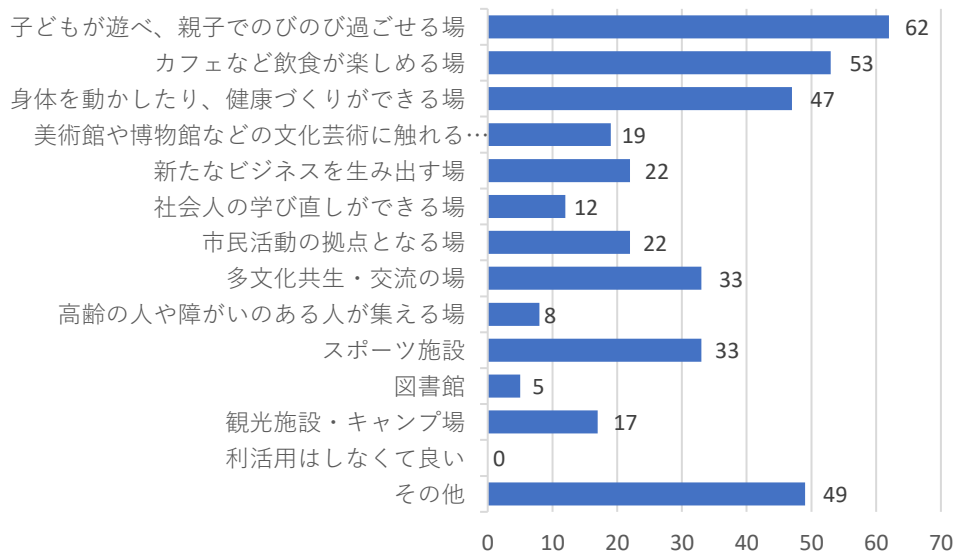
10代から30代の回答が約46%を占め、若年層の関心の高さが現れました。年代別で比較しても、10代が最も多く。50代、40代と続きました。比較的若い層からの回答が多く、年代を追うごとに回答率が低下していく傾向が見られました。



2. 利活用の方向性についての傾向

選択肢からの傾向

最多は「子どもが遊ぶ、親子でのびのび過ごせる場」でした。次いで「カフェなど飲食が楽しめる場」、「身体を動かしたり、健康づくりができる場」、「スポーツ施設」「多文化共生・交流の場」に集中する傾向がある一方で、「図書館」、「高齢の人や障がいのある人が集える場」、「社会人の学び直しができる場」は比較的低い選



択率となり、日常利用（遊び・飲食）や交流・運動機能のニーズが高い結果となりました。

年代別の選択傾向

色が濃いほど選択されていることを表しています。

年代別の傾向では、全年代を通じて「子どもが遊べ、親子でのびのび過ごせる場」が最も多く選ばれ、次いで「カフェなど飲食が楽しめる場」や「身体を動かしたり、健康づくりができる場」が選択されています。加えて、中高年層では「多文化共生・交流の場」の選択も増えており、文化芸術に触れられる場やスポーツ施設・市民活動の拠点も一定の支持を集めています。

全体として、子育て・交流・健康づくりを重視する傾向が強く、世代によっては多文化共生、市民活動の拠点等のニーズがあることも分かります。

子どもが遊べ、親子でのびのび過ごせる場	26 59.1%	2 66.7%	13 50.0%	11 40.7%	3 8.1%	3 23.1%	4 44.4%
カフェなど飲食が楽しめる場	24 54.5%	1 33.3%	6 23.1%	7 25.9%	9 24.3%	3 23.1%	3 33.3%
身体を動かしたり、健康づくりができる場	19 43.2%	2 66.7%	11 42.3%	5 18.5%	6 16.2%	2 15.4%	2 22.2%
美術館や博物館などの文化芸術に触れることができる場	3 6.8%	2 66.7%	3 11.5%	0 0.0%	5 13.5%	3 23.1%	3 33.3%
新たなビジネスを生み出す場	4 9.1%	1 33.3%	3 11.5%	5 18.5%	6 16.2%	3 23.1%	1 11.1%
社会人の学び直しができる場	2 4.5%	0 0.0%	1 3.8%	2 7.4%	6 16.2%	0 0.0%	1 11.1%
市民活動の拠点となる場	4 9.1%	1 33.3%	2 7.7%	5 18.5%	5 13.5%	3 23.1%	2 22.2%
多文化共生・交流の場	4 9.1%	0 0.0%	4 15.4%	6 22.2%	12 32.4%	6 46.2%	1 11.1%
高齢の人や障がいのある人が集える場	0 0.0%	0 0.0%	3 11.5%	0 0.0%	2 5.4%	1 7.7%	2 22.2%
スポーツ施設	14 31.8%	0 0.0%	9 34.6%	4 14.8%	2 5.4%	2 15.4%	2 22.2%
図書館	4 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
観光施設・キャンプ場	5 11.4%	0 0.0%	4 15.4%	1 3.7%	4 10.8%	2 15.4%	1 11.1%
利活用はしなくて良い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5 11.4%	0 0.0%	6 23.1%	12 44.4%	22 59.5%	5 38.5%	0 0.0%
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上

選択肢「その他」の記載内容

No	年代	その他の記載（コメント原文）
3	40代	若者の滞在施設
16	30代	商業施設（イオンなど大きい施設希望）
22	50代	RVパーク、ドッグラン併設の道の駅
23	40代	富良野東・西中学校を再編統合して「富良野市立富良野中学校」の開校を目指す
25	40代	屋内ドッグラン
26	30代	ドッグラン
28	40代	中長期の滞在施設（スポーツや演劇等）
34	60代	インターナショナル富良野ネイチャーガイドスクール 構想（案）
37	10代	日本人学校
40	30代	教育の場

43	30代	専門学校
44	30代	市内にある中学校の統合
48	60代	スーパーなどの商業施設
49	50代	インターナショナルスクール
50	50代	趣味（ラジコン）コース
63	40代	不登校児童のための運動施設
66	10代	映画館
68	50代	格安宿泊施設
78	50代	学生スポーツや演劇関係の人たちが利用できる合宿施設のようなもの
80	40代	富良野西・東中学校を統合して中学校を移転させて(富良野中学校)を開。
81	40代	国際学校の設置（最近あちこちで問題になっているが）
82	30代	グラウンドの緑化 自然と市民が交わる場所
83	50代	通信制大学、通信制高校の支部校として利用する。
84	40代	富良野東・西中学校を再編統合して「富良野中学校」の開校を目指す。
87	10代	心霊スポット
88	10代	ダンス
90	50代	商業施設
99	60代	富良野市と高校の変遷（歴史）などが伝わる場所を中にして欲しい
107	40代	大学や専門学校などの教育機関
112	40代	図書館と学童センター
119	50代	教室をレンタルスペースとして使い、バンドやサークル活動、創作活動の拠点となる自由空間
126	40代	イオンなどの大型商業施設
127	50代	宿泊施設
134	50代	まずは更地に。その上で、新たな雇用の創出が見込める商業施設を誘致。
138	50代	保育所・学童・子どもが遊べる屋内施設、図書館・公民館を併設、交流カフェ、陶芸他の生きがい部屋、人生100年時代に対応
140	60代	部活動地域展開の拠点施設
141	50代	ペットと共に過ごせる場
143	40代	駐車場
147	10代	道の駅とホテル(富小と同様)
150	50代	水平に広い形を生かした、高齢者・要介護者向け複合施設
152	50代	海外大学や各種学校の日本支部として学びの場とする
153	50代	山部の博物館を新富良野高校にまると移転し新博物館とする

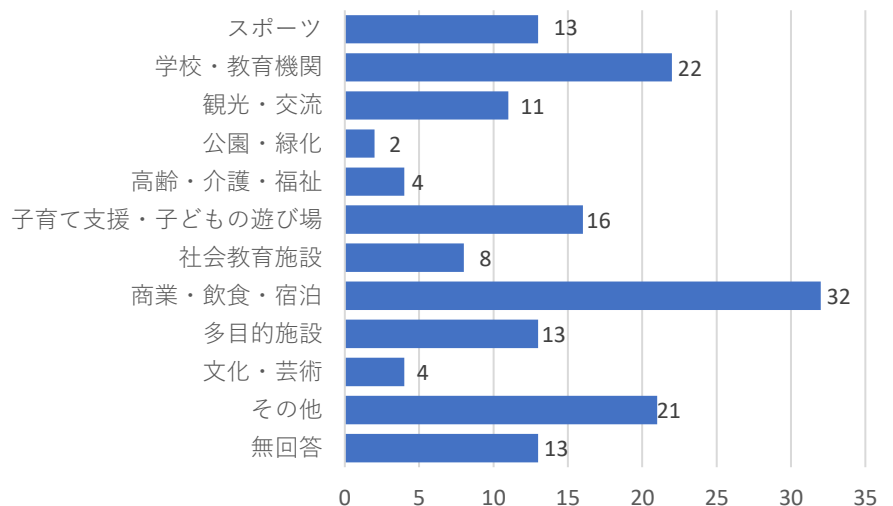
154	50代	外国人で近接に暮らす人々の研修拠点
155	50代	貸しテナントとして周辺のテナントより初期費用を抑えた企業チャレンジ用施設に改修する。
156	50代	滞在型研究学習施設
157	50代	レジャー施設
158	50代	アウトドアの拠点化
159	50代	登山や当時のような長い滞在ができるようなもの（夏・冬のロングステイ）

3. 自由記載の傾向

カテゴリからの傾向

寄せられた自由意見を 13 のカテゴリに分類・集計したところ、「商業・飲食・宿泊」が 32 件と最も多く、特にイオンや大型商業施設、宿泊施設の要望が多く上げられました。次に多かったのは「学校・教育機関」、中学校の統合や専門学校・大学の誘致など、意見がありました。「子育て支援・子どもの遊び場」も要望が多く、屋内遊技場や広い遊び場のニーズが高い結果となりました。

一方で、「スポーツ」や「多目的施設」も一定の割合を占めており、地域コミュニティ・交流や健康増進に関するニーズが根強いことが分かります。「観光・交流」や「文化・芸術」は比較的少数ですが、富良野の観光資源や文化的価値を活かした提案が含まれていました。今回の結果からは「大型商業施設」「教育・子育て環境の充実」「地域交流・健康づくり」という 3 つのニーズが強いことが見えてきました。



年代別の選択傾向

全年代を通じて「商業・飲食・宿泊」「学校・教育機関」「子育て支援・子どもの遊び場」が上位を占め、地域の生活利便性や教育・子育て環境の充実を求める声が強いことが分かります。一方で「スポーツ」「多目的施設」も一定の支持があり、交流や健康づくりの場へのニーズも広くみられる結果となりました。

10代では、「スポーツ」「子育て支援・子どもの遊び場」「商業・飲食・宿泊」への関心が高く、20代・30代では「子育て支援・子どもの遊び場」「学校・教育機関」「商業・飲食・宿泊」が中心に選ばれています。40代・50代では、「学校・教育機関」「子

どもの遊び場」「商業関係」に支持が集まり、「多目的施設」等複合的な機能を持った施設の要望が見られます。60代・70代以上では「社会教育施設」「学校・教育機関」等学びの場を求める声も見られました。

スポーツ	6 15.8%	1 33.3%	2 7.7%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
学校・教育機関	1 2.6%	0 0.0%	5 19.2%	7 28.0%	6 18.2%	1 7.7%	2 25.0%
観光・交流	3 7.9%	0 0.0%	2 7.7%	1 4.0%	3 9.1%	1 7.7%	1 12.5%
公園・緑化	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	1 7.7%	0 0.0%
高齢・介護・福祉	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	1 12.5%
子育て支援・子どもの遊び場	6 15.8%	2 66.7%	4 15.4%	3 12.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%
社会教育施設	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.1%	3 23.1%	1 12.5%
商業・飲食・宿泊	15 39.5%	0 0.0%	5 19.2%	4 16.0%	4 12.1%	2 15.4%	2 25.0%
多目的施設	1 2.6%	0 0.0%	4 15.4%	2 8.0%	3 9.1%	3 23.1%	0 0.0%
文化・芸術	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	3 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5 13.2%	0 0.0%	2 7.7%	3 12.0%	9 27.3%	1 7.7%	1 12.5%
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上

4. 各カテゴリの代表的な意見抜粋

ジャンル	年代	意見抜粋（要約）
子育て支援 子どもの遊び場	NO. 115 40代	校庭を開放し冬季に屋外遊びができるようにしてほしい。小さい子ども遊べるスノーパークとして整備すれば天気の良い時にはすぐに行ける遊び場になるのでは。
	NO. 9 20代	市役所にへそキッズランドがあるが、遊び場としては少し物足りなさを感じる。高校の跡地だと広さがあるので、年齢別にブースを分けることもできる。

スポーツ	NO. 96 10代	子供から大人まで楽しめる遊べる場所や市のみんなが遊んで楽しめるスポーツができる場所
	NO. 114 20代	体育館を利用して、ボルダリング施設を作って欲しいです。市民の健康維持、子どもの習事などが期待されます。
公園・緑化	NO. 19 60代	建物はすべて除却し、多目的に活用できる遊歩道や更地がある公園として整備されることを望みます。
	NO. 21 50代	富良野の観光閑散期である春、秋の集客を目的として、グラウンドに2つのエリアを作る。 ■春エリア：ソメイヨシノの様な映える種類の桜並木を作る。 ■秋エリア：イロハモミジの様な紅葉が赤くなる種類の紅葉並木を作る。
多目的施設	NO. 89 50代	子供や若者が思いっきり遊べる場所(体育館)や、コーヒーやお茶を飲みながらゆっくり本を読んだり音楽を聞いたりできる場所、若い人たちが受験や試験勉強に使えるスペース、外国人と日本人の住民が交流できる空間(語学教室やイベント、展示)など、楽しく学べて集える新しい「みんなのがっこう」ができるといいなと思います
	NO. 119 50代	地域の小さな子どもからお年寄りまでが気軽に立ち寄り、ゲームをしたりお茶を飲んだりしながら交流できる憩いの空間も設けていただきたいです。
社会教育施設	NO. 97 50代	札幌市青少年山の家のような教育宿泊施設にして欲しい。社会教育や子供教育など豊かさを育む、人材を育てる場にして欲しいです。
	NO. 108 60代	郷土館を移転し市民や観光客がゆっくり食事したりするフードコートのようなものを作り子供たちが遊べる公園も整備するといいなあと思います。あと、以前の文化会館にはあった和室や調理室があると色々な催しができるのではないかと思います
文化・芸術	NO. 127 50代	アーティスト・イン・レジデンス事業を中心とした文化芸術施設。旧富良野高校跡地を、創作活動を行う人々が「気軽に」富良野の地で活動し、その魅力を発信できる拠点として活用できたら、より一層、富良野の魅力が豊かに膨らむのではないかと思います。
	NO. 3 40代	高校の跡地の活用として、市外や北海道外から訪れるアーティストや若者が滞在できる宿泊・創作施設としての活用を提案します。
観光・交流	NO. 42 70代	道の駅又は街の駅子どもが遊べて年寄りも毎日のように来て話が出来るところ。カフェなども。市民の広場みたいな感じ。直売所なども。
	NO. 25 40代	富良野にはドッグランがありません。雪がない季節は外の散歩ができますが、雨の日や冬に散歩ができなくて、困っている声を多く耳にします。
商業・飲食・宿泊	NO. 5 40代	旭川まで行かなくても楽しめるイオンモールの様な娯楽施設を希望します。

	NO. 11 30代	富良野近郊にない、ボルダリングジムや、商業施設を併合した都市型アウトドア施設、子ども向けの大型アスレチックパーク等があると多量の人々が富良野に集まると思います。
学校・教育機関	NO. 44 30代	この先の未来を考えると、跡地に中学校統合で大きく開校することが出来れば、これから少子化が更に進むことを踏まえて、小中一貫校も後に検討できると思います。
	NO. 124 30代	富良野から若い人がどんどん流出してるので、大学や専門学校にしてほしいです。学生として住んでくれたら、すみ続けてくれる人もでるかもしれません。
高齢・介護・福祉	NO. 14 30代	大型の介護施設はどうでしょうか？ すべての介護施設を市で管理運営できるように一つにまとめてしまって大きな施設を作ると感じます。
	NO. 17 70代	校内を主に全天候型(年中)の健康づくり運動ができる対策をとって欲しい。高齢者が安心して活動できるモデルケースとして考えてほしい。
その他	NO. 50 50代	旧富良野高校跡地利活用にラジコンカーコース広場を提案いたします。趣味を通じた人の交流、地域の活性化。(経済の活性化)
	NO. 28 40代	まちづくりの拠点になることを期待します。
	NO. 61 10代	観光客向けではなく、地域の人向けに

5. 旧富良野高校跡地の利活用アイデアの記載(全件・原文のまま)

※未回答の13件は除いています。

No	年代	旧富良野高校跡地の利活用アイデア
1	70代以上	ラウンドワン
2	10代	大型の商業施設があればいいと思います
3	40代	高校の跡地の活用として、市外や北海道外から訪れるアーティストや若者が滞在できる宿泊・創作施設としての活用を提案します。多くの子どもや若者は、刺激や出会いを求めて都市へ向かいますが、こちらに人を迎え入れることで、地域にしながら多様な表現や価値観と出会える環境をつくることができます。滞在しながら行われる創作活動は、完成した作品を見るだけでなく、制作の過程や考え方に触れる機会を生み、関わる人それぞれの視野を広げます。宿泊費の負担を抑えた施設とすることで、若者や表現者が気軽に滞在しやすくなり、一度きりではない継続的な交流が生まれます。かつて学びの場であった高校の跡地を、年齢や地域を超えて人が集い、学び合い、創造する開かれた拠点として活かすことが、これからの地域の魅力づくりにつながると考えます。
4	30代	富良野市旧高校跡地活用提案書 #提案名称 「スポーツ・文化の街ふらの」再興プロジェクト — 地域共生型交流・定住促進拠点の創出

1. 背景と課題認識

富良野市は自然・観光資源に恵まれた街として広く知られる一方、慢性的な人口減少、子育て支援の不足、若者・女性の雇用機会の限定性といった課題を抱えています。また、富良野高校跡地という地域の記憶と歴史が詰まった場所が未活用のまま残されており、地域の再生の核としての活用が強く求められています。

さらに、ホテル・民泊価格の高騰により、学生や子育て世代が大会・合宿・イベント等で富良野に長期滞在することが困難になっています。これは地域経済の機会損失となっており、「新しい受け皿」が必要です。

2. 提案の概要

旧富良野高校跡地を活用した「スポーツ・文化・教育・定住」が融合する複合施設
名称（仮）：フラノ・コネクト・キャンパス（FCC）**

* 主な機能：

- * スポーツ合宿／大会のための宿泊施設（元教室改装、大部屋・個室）
- * 研修・学習・創作活動のための多目的ホール／会議室
- * トレーニングルーム・体操スタジオ（子ども・シニア向け）
- * 地元食材による食堂・調理室の再活用（ママ雇用・学生アルバイト）
- * ランドリールーム、シャワー室、酸素カプセル設置
- * ワークेशन対応型のコワーキングルーム（元図書室等）
- * 一時保育・親子体操スペース（旧保健室など）

3. 事業の柱と特色

(1) 雇用創出

- * 地元女性（特にママ）・学生・Uターン希望者の雇用創出
- * シーズン問わず稼働する合宿施設・教育・保育機能によって**通年雇用**を実現
- * 社員には「富良野でしっかり生活できる」給与水準を目指す

(2) 子育て支援

- * 幼児・小学生向けの体操・スポーツ教室（体育館・スタジオ活用）
- * 子連れワークेशन対応（コワーキング＋一時保育）

(3) 地方創生・移住促進

- * 長期滞在型合宿やイベントでの来訪者に「富良野に住む選択肢」を提示
- * 年間を通じて人が集う場所 → 空き家・定住支援と連携

(4) 文化とスポーツの融合

- * 「北の国から」だけじゃない“**スポーツ・文化の街ふらの**”
- * 地元文化団体の練習・展示・発表の場にもなる複合スペース設置

4. 財源・運営方式

- * 公民連携（PPP）方式による初期整備／利活用
- * 運営：地域法人（NPO／合同会社）＋地域内起業家によるコンソーシアム
- * 収益源：宿泊料、イベント利用料、スタジオ教室費、飲食収益、研修施設貸出等
- * 外部補助：地域活性化交付金、観光庁補助金、クラウドファンディング活用

雇用・収益構造（利益強化版シミュレーション）

【想定規模：年間 4,000 泊（稼働率アップ・大会誘致含む）】

収入項目	単価・回数	年間概算収入
宿泊収入	4,000 泊 × 4,500 円	1,800 万円
食事提供（朝夕 2 食）	4,000 泊 × 1,800 円	720 万円
トレーニング室		
スタジオ会員	月 40 × 8,000 円 × 12	384 万円
幼児体操・地域教室	週 8 × 20 人 × 500 円 × 48 週	384 万円
イベント・貸館収入	年間 200 件 × 15,000 円	300 万円

コワーキング収入	月 30 名×10,000 円	360 万円
その他（物販・酸素カプセル・送迎等）	推定	200 万円
年間売上合計		**4,148 万円**

【支出構造（目安）】

支出項目	年間概算
スタッフ人件費（7 名）	約 2,100 万円（年収 300 万円）
パート・アルバイト（調理・清掃等）	約 400 万円
光熱水費・設備維持	約 300 万円
保険・備品・消耗品	約 150 万円
広報・マーケティング	約 150 万円
年間支出合計	**約 3,100 万円**

→ ****年間利益見込み：約 1,048 万円（営業利益）****

初期投資とキャッシュフロー試算（5 年間）

年次	売上	支出	営業利益	累積利益	初期設備償却（5 年）	実質損益
初年度	4,148 万円	3,100 万円	1,048 万円	1,048 万円	1,400 万円	▲352 万円
2 年目	4,250 万円	3,200 万円	1,050 万円	2,098 万円	1,400 万円	▲350 万円
3 年目	4,400 万円	3,300 万円	1,100 万円	3,198 万円	1,400 万円	▲300 万円
4 年目	4,600 万円	3,400 万円	1,200 万円	4,398 万円	1,400 万円	▲200 万円
5 年目	4,800 万円	3,500 万円	1,300 万円	5,698 万円	1,400 万円	▲100 万円

※初期設備投資額：7,000 万円→5 年定額償却で年 1,400 万円（補助金等で軽減可能）

→5 年目までに累積黒字化、6 年目以降は**年 1,300~1,500 万円の安定黒字化見込み

5. 想定成果と KPI

項目	目標（初期 3 年以内）
年間宿泊者数	4,000 人以上（学生・企業・文化団体）
雇用創出人数	常勤 7 名・パート 15 名以上
地域経済波及効果	年間 8,000 万円以上
子育て・地域教室稼働率	平日稼働率 80%以上
地域定住促進効果	年間 8 世帯以上の移住支援に結びつける

6. 参考成功事例（調査済）

- * 岩手県紫波町「オガールアリーナ+フットボールセンター」：官民複合型拠点の成功例
- * 北海道深川市「エフパシオ」：廃校活用型スポーツ宿泊施設
- * 長野県飯綱町「いいづなコネクト WEST」：宿泊×フィットネス×交流拠点
- * 宮崎県新富町「追分分校再活用」：合宿対応+保育+食事

7. 終わりに

「観光地としての富良野」から、「暮らしたい街・子どもを育てたい街・スポーツ文化が根付く街ふらの」へ。富良野高校跡地はその象徴として、市民とともに再出発する起点になります。

****この提案が富良野の未来を共に創る第一歩となることを、強く願います。**

****地域の人が誇りを持ち、訪れる人にとっても「帰ってきたくなる場所」。スポーツと文化を通じて、人と人、人と地域がつながる富良野の未来へ、この場所から歩み**

		るとメディア受けも良く話題になる可能性がある。 同じ施設に子供を一時的に預けられるサービスがあると、お年寄りも嬉しいし場所的にお母さんも立ち寄りやすい。お年寄りの生きがいにもつながる。ただの介護施設だと若い人は近寄りがたいが、食事や販売などビジネスのチャンスのある場所になるとどの世代も関係する場となる。
16	30代	イオンやドン・キホーテなどの大きい商業施設ができてほしいです。 特に子ども用品が必要になったときに、富良野市内にない場合に近隣だと旭川または滝川まで行かないと揃わないのでとても不便です。 冬は特に天候がひどいに行けません。 子ども用品に限らず、富良野市内に大きい商業施設があるだけでとても助かります。
17	70代以上	是非実際に見ないとわからないので「見学会」を開いてください。2回ほど(日程に都合もあるので)。校内を主に全天候型(年中)の健康づくり運動ができる対策をとって欲しい。屋内ウォーキングができる→体育館内+廊下+階段等。高齢者向けの軽体力づくり器機を備えた部屋(教室)スポセン様式。高齢者が安心して活動できるモデルケースとして考えてほしい。高齢者の対策が未来を明るくすると思います。
18	40代	北海道富良野市 旧富良野高校跡地利活用提案：宿泊機能付き「地域交流・情報発信拠点」構想 1. 提案の背景と富良野市の現状 富良野市は、道東と道北を結ぶ国道沿いの好立地にあり、年間約120万人が訪れる「フラノマルシェ」から近接しています。もともと観光客が多い地域ですが、観光客増加に伴い、宿泊施設不足が深刻な課題となっています。特に、近隣の子供たちの学習や部活動の合宿に利用できる低価格帯の宿泊施設が不足しています。 また、富良野市は「演劇の町」として知られており、芸術系のワークショップを行うための施設が町中に求められています。一方で、富良野市の人口は約2万人弱であるため、市民からの大規模な資金調達スキーム(市民出資など)は難しいという財政的な制約があります。旧富良野高校跡地の利活用は、これらの複合的な課題を解決するための重要な機会となります。 2. 提案の概要とコンセプト 旧富良野高校(3階建て)の既存施設を改修し、宿泊機能を中核に、地域住民と観光客の交流、情報発信、そして文化芸術活動を担う複合拠点として再生することを提案します。これは、宿泊機能を伴う「道の駅」のような役割を担う施設を目指すものです。 3. 具体的な施設活用案 既存の校舎、体育館、校庭のそれぞれのストックを、以下のように再構築します。 1階(商業施設)： 富良野の食材を活かしたカフェや飲食店、特産品を扱う店舗などを誘致します。観光客と地域住民が日常的に利用できる賑わいの核として、収益の中心を担います。 2階(交流・ビジネス施設)： 地域住民や観光客が交流できる多目的スペースや、短期・長期滞在者向けのレンタルオフィスを設置します。地域のビジネス創出や情報交換の場を提供します。 3階(宿泊施設)： 約80名収容の宿泊スペースを整備します。観光客の宿泊需要を満たすとともに、後述の教育・研修利用の受け入れ基盤とします。 体育館(ワークショップ施設)： 富良野の芸術性を高めるため、演劇、音楽、ダンスなどの芸術系ワークショップやイベントに利用できる場として改修します。市民の生涯学習や文化活動にも貢献します。

		<p>校庭（森林公園）： 校庭はアスファルトやグラウンドから木々を植えた森林公園へと転換します。「町の中のオアシス」として、地域住民の憩いの場、環境教育の場として活用します。</p> <p>4. ビジネスモデルと収益性の見通し 本施設は、観光客による一般宿泊事業と、地域貢献を兼ねた教育・研修宿泊事業の二つの収益の柱を確立します。</p> <p>4-1 一般宿泊事業（主たる収益） 年間宿泊数 31 万泊という富良野の市場に対し、80 名収容の施設を供給します。稼働率 50%、年間営業日 300 日・客単価 10,000 円と仮定すると、年間売上は約 1 億 5,000 万円を見込むことができます。</p> <p>4-2 教育・研修宿泊事業（閑散期の活用） 閑散期には、近隣の子供たちの合宿や学習研修向けに安価（目安：1 泊 3,000 円程度）で提供します。 年間 5,000 人の利用を目標とし、年間売上 1,500 万円を目指します。地域貢献と安定的な収益確保を両立します。</p> <p>4-3 テナント収入 1 階の商業スペースに出店するテナントからテナント料を徴収し、安定した運営費の一部とします。</p> <p>年間 120 万人が訪れるフラノマルシェの利用客の多くは日帰りであるため、本施設が宿泊の受け皿となることで、富良野市への経済波及効果が大きく向上することが期待されます。</p> <p><参考> 廃校を成功事例として再生した「道の駅 保田小学校」の例は、本提案の実現可能性を示唆しています。 https://hotasho.jp/</p>
19	60 代	<p>明らかに人口減少が進むなか、建物の利活用は維持管理も含めて困難であり、成功事例はごく僅かだと思います。 建物を残しての利活用は、財政的にも、他の老朽化している公共施設の維持管理にも影響する懸念しかありません。 建物はすべて除却し、多目的に活用できる遊歩道や更地がある公園として整備されることを望みます。 健康づくりであったり、市民活動、交流の場など利用する市民がその時その時に活用できる公園として整備してもらいたいと考えます。</p>
20	50 代	<p>スポーツや芸術(演劇、音楽など)を富良野で短期間でも活動したい人達や高校が多いが、宿泊施設が高すぎる。そうした人達を対象に合宿所もしくはゲストハウスが出来ないものか。</p>
21	50 代	<p>富良野の観光閑散期である春、秋の集客を目的として、グラウンドに 2 つのエリアを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■春エリア：ソメイヨシノの様な映える種類の桜並木を作る。 ■秋エリア：イロハモミジの様な紅葉が赤くなる種類の紅葉並木を作る。 ■並木エリアにはキッチンカーが入れる場所も設ける。 ■体育館か教室を使い、子供の遊戯所や室内ドッグランも設ける。
22	50 代	<p>観光で訪れる人が多い所なのに道の駅が無いのが残念 敷地も広いので全道各地の道の駅の良い所を盛り込んだ道の駅を作ってほしい</p>
23	40 代	<p>富良野東・西中学校 再編統合 中学校 移転先「旧富良野高等学校跡地」 「富良野市立富良野中学校」開校</p>

		(近年の富良野東・西中学校は少子高齢化と核家族により全校生徒数が減少して る。) (現在は富良野東中学校の校舎が老朽化で古くなってる。) (近年の富良野市は高齢化と核家族化が進んでる。) (近年は建設費・材料費・工事費など物価が値上げされてる。) (廃校後の旧富良野高等学校跡地は中学校が移転すべき) (富良野東・西中学校を再編で統合して中学校を廃校後の旧富良野高校跡地の校舎に 移転させて富良野中学校の開校を目指す。) (富良野東・西中学校を全校生徒数の低迷と統廃合により閉校。)
24	30代	道の駅を作ったらいいと思います。美瑛から南富まで道の駅はないからちょうどい い立地なのになんで富良野にないのかな？と思っています。マルシェは混みすぎて 気軽にトイレ休憩すらできないこともあるし、トラックとかも入れない。恵庭や伊 達くらいデカイ農産物直売所があれば地元の人も集まれる。高校のまだ使える建物は そのまま使ってほしい。教室ごとでテナント貸して事業者募集とかできたら色ん なアイデアの人が来てくれて楽しいんじゃないかなと思います
25	40代	富良野にはドッグランがありません。雪がない季節は外の散歩ができますが、雨の 日や冬に散歩ができなくて、困っている声を多く耳にします。屋内だと色々と設備 や費用の面も簡単にはいかないでしょうけれど、是非検討してもらえると近隣から の利用者もいるのではないのでしょうか？ 無理でも、せめてグラウンドをドッグランにさせていただけるとありがたいです。
26	30代	道の駅 ドッグラン
27	50代	一番良いのは、養護学校や国際関係や観光関係の専門学校などがあればそのまま富 良野にも就職できます。
28	40代	まちづくりの拠点になることを期待します。 財源は『ふるさと納税（企業版も）』を活用すべきだと思います。富良野市は将来の まちづくりにこんなビジョンを持っていてこんな施設を整備したい。でも財源が足 りない。そこで、全国の富良野市応援団に協力を呼び掛けるのです。まちづくりの 過程から完成までを見てもらいましょう！ また、個別整備にはクラウドファンディングも活用できると思います。
29	10代	会社が集まって、協力・アイデアの出し合いとかをする場所。 観光客が泊まれる場所。 給食を食べられたりする場所。
30	50代	・道の駅 ・何かに特化し、道内の拠点となるような場。例えばペット同伴可の飲食店、フー ドコート、カフェや交流の場。ドッグランやトリミングサロン、ペットホテルやシ ョップ。 ・上記を併設したキャンピングカーが利用できるキャンプ場。 ・キッチンカーなどの祭りも開催できるように。 ・富良野には人を呼び込む新たなテーマが必要だと思います。それはできるだけ富 良野市の経済が潤うことを追求したビジネスが良いと思います。
31	10代	そのままにしておくにはもったいないので道の駅とか何かに利活用されると良いと 思います。 私は富良野高校 FCL 同好会に所属しております。 富良野の地域活動に貢献していきたいと考えております。
32	30代	グラウンドではこれまで通り、野球、サッカーラグビーなどのスポーツの練習や大 会などで使用する。体育館については、床を剥がし、屋外スポーツの練習場として 活用したい。主に野球、サッカー、ラグビーなど。現状山部の生涯学習センターが ありますが、市内の子供たちが通うには距離もありまた、室内も狭いため市内にそ のような屋内施設があると良い。 校舎については、会議や市民の集まりで簡易的に使えると良い。
33	10代	屋内遊技場
34	60代	世界から生徒が集まり、世界で活躍し、世界から人が集まるネーチャースクール コンテンツはあるのに人がいなくて活用できない無駄をなくし、富良野の価値を高

		める pdf を別途添付
35	10代	富良野高校 FCL で活動していますが、活動の場所として自由スペースなどができれば活動場所が増えメンバーのモチベーション向上につながると考え、そこに飲食できるスペースもあるととても良いと思います。
36	10代	ケンタッキーを作ると良い
37	10代	富良野小学校の6年生が言っていたとおり、地元の人も利用できる道の駅マルシェ3建てるのは？ マルシェ3で、やめざるを得なかった店などが入る。 子どものフリースクール。
38	40代	ショッピングモールが欲しいです。フードコートもあれば飲食店不足も解消するし、ゲームセンターがあれば小さなお子様からお年寄りまで幅広く遊ぶ事ができます。ボケ防止でパチンコ行くお年寄りも多いのでパチンコよりは健全かと思えます。
39	10代	自習(勉強)スペース
40	30代	チーズ工場、ワインハウス、プリンスホテルウイスキー工場、ふらのスキー場、BONCHIPOWDER 企画、電柱の廃止、河畔林の開発、等々 商業的で、富良野の資源を消費するだけの事業展開は、もういいです。見ていて富良野らしさは言葉の音だけで、誰でもどこでもやっているようなことに見えて仕方ありません。「流石富良野！」となるテイストはあるはずな気がします。 大学を誘致したり、本当の自然や文化、教育、暮らし、産業(農業)、を考慮した事業開発を行政には望みます。もちろん行政だけでなく、行政・民間・市民と協働で胸を張って全世界に発信できる取り組みを期待します。 本質的な思考を言い訳せずに見つめて考えてもらいたいです。
41	10代	校舎を利用した宿泊施設。
42	70代以上	道の駅(条件が合わないのなら)又は街の駅(へその街だから“どまんなか”とか) 子どもが遊べて年寄りも毎日のように来て話が出来るところ。 カフェなども。市民の広場みたいな感じ。直売所なども。
43	30代	いろいろなことを学べる専門学校を設立することで、地域に人が集まる。学んだことを地域に還元できる循環が生まれると思う。外国人をたくさん入れるよりも道内道外からいろんな人材を集めた方が良いと思う。
44	30代	<p>■1 スポーツ施設 他の自治体と比べても、富良野のスポーツセンターは小規模で老朽化もひどく、広さも狭くて大きな大会もできないうえ、陸上競技場はゴムマットさえ敷かれてないので、話にならないと思います。子育て目線と言うと、正直ほかの街でのびのび生活したいと考えてしまいます。 なので、スポーツ施設を充実させてみてはどうでしょうか？</p> <p>■2 市内の中学校統合 小学校が統合してきているので、中学校も統合するべきだと思います。 理由は、立地条件的にも市内の中学生なら歩ける距離にあると思います。 それから、多感な中学生にとって現状2クラスしかない今の状況だと、いじめ問題に対応できていないと思います。 現に、痛ましい出来事もあったと思います。他にも、クラス編成に至っては、いじめられた子たちのクラスと、いじめられなかった子たちのクラスのように、二分化しているようにお見受けしています。クラスが少ないことで、我慢を強いられ、泣き寝入りせざるを得ない子供たちが多くいることも知ってほしいです。統合することで、二分化にならないことや、多くの交流によって子供たちの心のスペースを広げることが出来るのが、統合する最大のメリットだと思っています。 それから、この先の未来を考えると、跡地に中学校統合で大きく開校することが出来れば、これから少子化が更に進むことを踏まえて、小中一貫校も後に検討できると思います。地方の自治体を維持するために、少しずつ変わらなければいけないと</p>

		思います。
45	10代	・夜遅くまでやっていて長時間いられる、勉強ができるフードコートみたいなカフェみたいな所。 ・何個かのお店が一つになっている場所。(イオンなど)
46	10代	パチ屋にする
47	50代	私は富良野高校に10月新設された、地域共創型富良野高校クリエイターズラボ(通称FCL同好会)顧問の小野といいます。富良野市のシティプロモーション課や地域おこし協力隊と連携活動もさせて頂いております。何か高校も力になれないかと思いい回答させて頂きました。これからメンバーからも回答があるかと思いますがよろしくお願ひします。今後、意見交換会等もあれば参加したいと考えています。
48	60代	具体的にはイオン、マックスバリュと言った商業施設の誘致。 富良野市には夜遅くまでのスーパーが無く不便です。イオン、マックスバリュは夜11時まで営業しているところが多いので富良野市にも夜11時位までの営業しているところがあったら非常に便利だと思います。富良野市は「市」です「町」では無い。「市」には夜遅くまでの商業施設が必要だと思います。
49	50代	中学生、高校生対象の英語で教科単位取得するインターナショナルスクール。と日本語学校。 海外からの就業者のご息が富良野で学び、日本や海外の大学進学対応の学びが出来つつ、富良野ならではのウィンタースポーツインストラクター資格取得、アウトドアガイドなど取得
50	50代	ラジコン(1/10電動バギーカー等)を趣味でやっています。専用のコースが近所にはありません。砂川市の河川敷のコースは複数のコースがあり良いのですが降雪により冬期は使用できません。旭川市の日ノ出公園のコースも同様です。体育館を使用できたらありがたいです。(ちなみに上富良野町の旧ひがしなか中学校では校舎内でサバイバルゲームをやっていました。)
51	50代	体育館を活用して全世代が楽しめるラジコンができるあっても良いと思います。趣味と交流の場を近隣に先がけ作ってほしい。(ラジコン専用でなくても良い)旭川市、砂川市では市で管理するラジコンのコースが既にある。
52	60代	<input type="checkbox"/> 貸し農園 <input type="checkbox"/> 富良野市民のみならず、市外の方の利用を推し進める 【目的】 ☆富良野の優位性をPR 景色×農業×食材 ◇継続的な富良野との関係次世代に繋がるリピーター化 ?移住に繋がる 農業経験者からのワークショップ <input type="checkbox"/> オートキャンプ場 <input type="checkbox"/> 北海道旅行は、キャンピングカーが多く利用されていると推測 更に、ホテル価格高騰やインバウンドによる満員状態、ペット同行旅増加が理由 ☆元校舎は簡易宿泊可能に 調理場の提供 案内所も備えた管理 ◇あえて街中の環境に ?宿泊してもらうことで周辺観光に多く訪問してもらいたい 以上
53	10代	ラウンド・ワンやイオン スポッチャなど富良野にはなく、子供、大人がスポーツなどででのびのびできる場所がいいです
54	10代	ゲームセンターか飲食店いろいろ
55	30代	体育館やグラウンドは市内の部活、少年団での使用を許可して欲しい。 市内の活動場所が足りていないので今ある施設をそのまま放置しておくのはもったいないので。 スポーツセンターのように使用料はあってもいいと思います。
56	10代	学校をそのまま生かして色々できる場所にして欲しい (小さなお店 食べたり休んだりする場所 運動ができる場所 体験ができる場所 雑貨 服 ゲーム)色々
57	30代	子どもたちが自由にかつ安全に遊べる場所がほしいです。また、スペースを区切っ

		て有料で貸出できるスペースもあるとよいかと思えます。収入は未来を担う子どもたちのために使ってほしいです。
58	10代	イオンと楽器屋を作ってください。
59	50代	犬猫を中心とする社会福祉、観光の総合施設 具体的には… <ul style="list-style-type: none"> ・捨てられた犬や猫を保護する施設、随時の譲渡会開催。 ・穏やかで安全な犬と触れ合えるドッグカフェ ・キャットカフェ ・近隣の愛犬家や犬連れ観光客が集う屋内ドッグラン。広大な屋外ドッグラン。ドッグランでは愛犬家が喜ぶイベントを随時開催。 ・犬猫は好きだが年齢のことを考えると飼うことができない老人用の集合住宅を併設。住居にはセラピー犬が常駐。個人的に飼うこともできて、その場合は身体的理由で面倒が見られなくなった場合も、安心な制度。 ・冬の間も安全に散歩ができるように除雪した散策路。 ・動物病院 ・犬の訓練所。ドッグトレーナーによるお悩み相談室など。
60	30代	ラウンド・ワン スポッチャ
61	10代	観光客向けではなく、地域の人向けに
62	40代	小学生の子どもがミニバスをしています。自主練に(自転車や徒歩で行くのにスポセンは遠いので旧富良野校の体育館を気軽に利用出来たら嬉しいです。また校舎を合宿施設として貸出しいろいろなスポーツ競技の合宿を誘致して活用してほしいです。
63	40代	不登校の児童が増えており、受け入れるための支援センターや適応指導教室などが活用されているが、学校のようにいつでも使用できるグラウンドや体育館を用意してほしい。
64	10代	教室やグラウンドというのを活かし、遊び場というのも良いですし、多文化交流も良いと思えます。
65	50代	旧富良野高校跡地活用にラジコンカーコース広場を提案いたします。 趣味を通じた人の交流、地域の活性化。(経済の活性化) 調べたところ自治体が支援、もしくは主体的にRCサーキットを設営・運営していることがわかりました。 旭川市が運営するラジコンサーキット、旭川市工業団地3条2丁目1「日の出サーキット」 砂川市が運営するSRC(砂川サーキット)空知川河川敷「ラジコン広場」 行政ではございませんが、株式会社ヨコモ(本社:茨城県つくば市)が運営する「つくばラジコンパーク」 世界最大級のラジコンカー専用施設です。総面積4,500平方メートルの敷地に14のコースを備え、ラジコンカーの全日本選手権や世界選手権など数々の公式大会を開催。 基本的に無料でのご利用が可能です。「つくばラジコンパーク」は国内外のラジコンファンにとって“聖地”とも称される存在です。 富良野市には数多くのラジコン愛好家がいます。 また、地域外にここ数年で老若男女問わずラジコンカーを趣味とする愛好家が増えています。次世代の子どもたちの安全と楽しみを守るためにご対応いただけますよう真摯にご検討いただけますようお願い申し上げます。
66	10代	体育館は、クレーンゲームを設置したらもっといい
67	10代	ラウンドワンなどの楽しく運動ができて、子供から大人までの層に刺さるような施設が欲しい。
68	50代	私が実際に利用して、富良野にもこういう場所があればいいのになあと考えていたのが、札幌にある「さっぽろ天神山アートスタジオ」です。検索してもらったのが一番分かりやすいと思えますが、文化や芸術をクリエイト、研究、発表をするために、スタジオを貸し出し、宿泊もでき、北海道はもちろん、全国、世界からも人が集まる交流の場となっています。富良野市の文化芸術基本条例の理念を最大限に生

		かし、老いも若きも、多文化交流もできる、「気軽に」たくさんの方が創作、発表に関わることができる施設になると素晴らしいと思います。
69	10代	・中で遊べる場所 ・スタバみたいな
70	10代	みんなが遊べて、食べるスペースがいいと思った。
71	10代	富良野高校クリエイターズラボ (FCL) のメンバーです。旧富良野高校跡地を研修施設 (交流の家のような) として活用し、イベントなども行え、市民も市外からの人も親しめる場所にするという案です。
72	70代以上	跡地の一部に、山部地区から富良野市博物館を移設新築する。現状は遠方にあり、市民が観覧できない。市への来訪者の入館も見込まれ、観光施設にもなる。
73	40代	宿泊施設や飲食スペースも備えた体験型生涯学習施設の様な、大学などのオープンセミナーを誘致して、社会人も学生も住んで学べる様な、子どものいる家族が長期休暇などで他の参加者とも交流できるような、なんだかごちゃごちゃだけど大人も子どももホームステイのような「富良野ステイ」ができる施設。市民もそうでない人も気軽に参加できるプログラムがある場所。
74	50代	看護学校に学科を加えて、スポーツ・語学・観光・IT・プログラミングなどを学べる1~数年か月~2年くらいの学びの場を作る (現看護学校を移転)。看護学校の寮を国外・国内からの滞在施設に再利用する。看護学生が減る前に間口を広げて閉鎖を防ぐ。
75	30代	市民だけでなく他の地域から人を呼び込むきっかけとなる施設 大学や専門学校など。併設してカフェなどもあれば発展制がある。
76	70代以上	大学、それしか無い??
77	60代	DIY 実践場 ふだんは、考えているものの機会が無い、場所が無い、知識 (経験) が無いと 思っている方の為に、場所と機会の提供する場所に 例えば、ログハウスとか単なる小屋のような建物や貸しガレージのような スペースとして利用してもらうことは、いかがでしょうか? 案のひとつに
79	50代	札幌市にはさっぽろ天神山アートスタジオというアーティスト・イン・レジデンス事業を中心とした札幌市の文化芸術施設があります。国内外のアーティストが街で制作・研究・発信を活発に行う為に中期滞在できる施設です。 富良野市にも「文化芸術基本条例」という誇るべき指針があります。旧富良野高校の校舎を、さっぽろ天神山アートスタジオのようにクリエイターが富良野の風土に触れ、新たな価値を発信する「創造の拠点」として再生させては いかがでしょうか。 スタジオ兼宿泊施設を整備することで、アーティストの活動を支援するだけでなく、市民との交流や市民との共同制作、ワークショップを促進します。 プロの表現活動が日常にある環境を作ることで、次世代を担う子どもたちの創造性を養い、感性を育む場にもなります。 期待される波及効果としては「創造都市」としてのブランディングになるのではないのでしょうか。アーティストが富良野の風土から着想を得て作品を発信することで、新たな視点でのシティープロモーションを実現できると思います。
80	40代	富良野西・東中学校 再編統合「富良野中学校」新設 近年の富良野西・東中学校は少子高齢化と核家族により全校生徒数が減少してきて、それに現在は富良野東中学校の校舎が老朽化により古くなってきて、近年の富良野市は高齢化と核家族化が進んで、近年は高齢化社会により若者の人口が減少してきて、現在は人口減少が止まらなくて2050年以降には消滅可能性自治体により若年女性の人口が激減してきて高齢化と過疎化が進んで富良野市など市町村が消滅してしまっていて富良野東・西中学校の全校生徒数が激減してしまうし、しかしながら富良野東・西中学校は全校生徒数の低迷により維持管理が難しく、そろそろ富良野東・西中学校には全校生徒数の低迷と統廃合により長年の歴史により終止符を打たせたいから、これから富良野東・西中学校を再編で統合して中学校を旧富良野高校跡地の校舎に移転させて「富良野中学校」を開校してほしいので、そのため富良野西・東中学校には全校生徒数の低迷と統廃合により閉校記念式典を執り行なわせて、そのことを総務省にFAXを送ったから、本当に何とかしてください。

81	40代	富良野国際環境教育カレッジ（仮称）の設立 世界中から生徒が集まる、富良野の自然・農業・観光を専門的に学ぶ国際的な専門学校の誘致、設立
82	30代	新たな教育の場プロジェクト これからの未来を作るために必要な分野を学ぶことができる場所づくり。 ・グラウンドは自然に還し、緑豊かな環境を取り戻すことで、人の心と体の健康を守る。 ・校舎の活用は様々な分野が入り混じる富良野ならではの店舗やブース活用。 ・オルタナティブスクールや、自然学校のような活用。 ・人が集まりやすい場所なので、お祭り行事などを行う。 ・商業的な活用は認めない。 ・富良野らしさを本質的に見つめ直し、これからの将来へ投資する気持ちを持って事業を考えたい。
83	50代	不登校の子供達が増加しているため、近年は通信制の学校が多数開校されていると思います。 そこで、通信制の学校が富良野に出来る事で、年々減少している若者の増加が期待出来ると思います。富良野は第2の倶知安と言われるくらい外国人の増加がある街、英語を学びたい学生には魅力的な学校になるのではないかと思います。
84	40代	旧富良野高校跡地 富良野東・西中学校を再編統合 「富良野中学校」開校 近年の富良野東・西中学校は少子高齢化と核家族により全校生徒数が減少してきて、それに現在は富良野東中学校の校舎が老朽化により古くなってきて、近年の富良野市は高齢化が進んで、2050年以降には富良野市の人口が激減してしまっていて富良野東・西中学校の全校生徒数が激減してしまうし、しかしながら富良野東・西中学校は設備老朽化と全校生徒数の低迷により維持管理が難しく、これから富良野東・西中学校を再編で統合して中学校を旧富良野高校跡地の校舎に移転させたいから、それで旧富良野高校跡地の活用は富良野東・西中学校を再編で統合して「富良野中学校」を開校してほしいので、そのため富良野東・西中学校には全校生徒数の低迷と統廃合により閉校記念式典を執り行なわせて、そのことを総務省にメールを送ったから、本当に何とかしてください。
85	30代	メガドンキー、ラウンドワン、イオンか、スポーツ店、ショッピングモール、スタバ、ミスド、デポ、フリーWi-Fi
87	10代	何年か放置してコケを生やして赤い服の人を徘徊させてお墓を作ると良いと思います
89	50代	東京都世田谷区の池尻中学校跡地にできた複合施設や (https://homeworkvillage.com/)、東川町のセントピュアなど、いくつか魅力ある事例がある。そんなものも参考にしつつ、富良野は富良野らしい市民が気兼ねなく集える場所、たとえば、天気の良い時に子供や若者が思いっきり遊べる場所(体育館)や、走り回ったりスポーツ交流ができる校庭、コーヒーやお茶を飲みながらゆっくり本を読んだり音楽を聞いたりできる場所、若い人たちが受験や試験勉強に使えるスペース、バンドの練習ができる音楽室、文化芸術活動のできるアトリエ兼展示室、外国人と日本人の住民が交流できる空間(語学教室やイベント、展示)など、楽しく学べて集える新しい「みんなのがっこう」ができるといいなと思います。一部、新しくお店を出したい人のためにスペースを使って若者の起業を支援するのも良いのかもしれない。
92	60代	旧富良野高校跡地は、富良野市の将来のまちづくりを考える上で、市街地に残された最大の敷地と建物であるので、最後のチャンスと考えて有効に利活用すべきである。 そのためには、市民全体で、全体構想・基本計画・個別計画をしっかりと議論すべきであり、その中で整備の時期を中長期的に整理する。 具体的には、老朽化して建て替えを要する施設（女性センター等）、整備できていない施設（防災拠点等）、まちづくりに必要な施設（三世代・多文化伝承交流施設、レンタルルーム等）、活性化に必要な施設（地元産品加工ラボ・合宿施設等）、学習

		<p>施設（フリースクール・サテライト塾・日本語学校等）が考えられる。</p> <p>必要性の優先度、新たな施設整備の必要性、管理体制（全体を施設管理？）、財源（民間資金の活用含め）、将来老朽化した場合の考え方を検討することは当然である。</p> <p>高齢者・子ども・移住者・外国人が集まり、交流する場所、そしてチャレンジする場所となることを願っている。</p>
93	10代	<p>富良野高校 FCL のメンバーです。</p> <p>広い敷地があるから体を動かせる施設になると嬉しいです。</p>
94	40代	<p>西中か東中を移転する。どちらの中学校も生徒数は減っていますが、使用できる教室が多いに越したことはありません。</p> <p>特別支援のニーズは増えており、個別の対応が求められる場合は隔離されたブースがほしいです。</p> <p>生徒指導を行う際も、落ち着いた場所で話す必要があります。</p> <p>部活動や学校祭などを行う際も活動場所が多いと助かります。</p> <p>また、西中や東中は荷物の置き場所がなく廊下に置いている状態です。</p> <p>富良野高校に移転できれば、それらの問題は解決するはずです。</p>
95	10代	サッカーゴールなどがありスポーツができるような公園
96	10代	子供から大人まで楽しめる遊べる場所や市のみんが遊んで楽しめるスポーツができる場所
97	50代	<p>札幌市青少年山の家のような教育宿泊施設にして欲しい。</p> <p>https://www.sapporo-yamanoie.jp/</p> <p>社会教育や子供教育など豊かさを育む、人材を育てる場にして欲しいです。</p> <p>そうすることでスポーツ合宿や企業研修、修学旅行生などの受け入れも可能になると思います。</p> <p>富良野市民がここで学んだことが5年後10年後に富良野を引っ張る力に、そして市外の方々には富良野の自然や文化、歴史など学ぶ場になることで富良野を好きになってもらえる、そのように場所になることを期待します。</p>
98	10代	サッカーゴールなどを作ってほしい
99	60代	<p>卒業生です。毎年帰省のたびに懐かしくつい立ち寄っていましたが、とても寂しいです。古い校門は残せるものならば残せないものでしょうか？前記もしましたが、高校の変遷が伝わる様な場所（史料館の様な…）を古い校門と共に残る事を期待します。富良野市と共にあった高校でしたから、単に観光の為だけのものではなく、健康的な集いの場や生涯教育とか職業訓練の場となる事を願います。</p> <p>面影も何も残らなくなる事や宗教的な施設や外国人には売らないでください。</p>
100	10代	いろんなスポーツができる場所
101	30代	<p>・一部の教室は、数ヶ月・数日・数時間単位の3パターンのレンタルスペースにするのはどうか。</p> <p>数ヶ月なら店舗のチャレンジ運営や学生の研究？など、数日ならイベント系、数時間なら仕事や複数人の食事の貸切など、いろんな利用ができそう。</p> <p>・体育館は室内でできるクライミング or ボルダリングの施設があると嬉しい。</p> <p>・子供が安心して遊べる、親が安心できる施設であってほしい。</p> <p>・できれば市民が身近に使えるエリアがメインであって欲しい。観光客向けはあるとしても一部で…。</p>
103	40代	<p>●子どもが室内で遊べる施設（ビエールやカムイの杜のような等々）</p> <p>●生涯学習センターのようにクリエイターズマーケットや、キッチンカーなどイベントを楽しめる場</p> <p>●個人でのハンドメイドのイベントやワークショップで使えるレンタルルーム（マルシェのレンタルルームは少し値段が高く、気軽に借りられない。例えば市民割等があれば借りやすい）</p>
104	60代	<p>富良野市の郷土芸能をもっと市民に知ってもらうための史料の展示や写真パネルビデオの上映など博物館にある史料を使い歴史を知ること大切。「見る」「知る」「語る」を基本に太鼓や獅子舞の演舞を市民に披露する機会を増やす。教育の面でも富良野市の歴史を知ること大切で郷土芸能が伝承されている事にもっと誇りを持って自分の郷土のことを語れるように生まれ育った郷土に愛着を持ってもらえるよう</p>

		な場も必要不可欠なのでは。体験できたり子供たちの感想や意見も取り入れたり郷土芸能の伝承は勿論のこと新しい取り組みも無ければ続かなくなる。後継者の育成と共に指導者の育成も必須なので折角の郷土芸能が途切れる事のないように配慮してもらいたい。郷土芸能伝承館として活用出来れば愛称とかキャラクター等市民からアイデアを募集するのも一つの方法として有りかも。
105	10代	スポーツセンターみたいな場所 遊ランドに似ていて、親世代でも楽しめるような場所
106	30代	子供から大人までが利用できるスポーツ設備や、野外クッキングやデイキャンプができるような、屋外野外施設があると良いと思います。また併設して入浴施設があると、屋外の活動後にそのまま人が流れていく動線もできて、老若男女が気軽に立ち寄れる憩いの場となるのではないのでしょうか。さらには簡易飲食スペースや、冬場は屋内アスレチックなどがあると子育て世帯も足を運びたくなくとも思います。
107	40代	富良野市の若者人口が少ないこと、をふまえ、学生アルバイトとしての労働力確保、富良野市への定住のきっかけづくり、若い層が流入することでの街全体の活性化が見込めると思います。 ぜひ、富良野に既存大学などのサテライト校を誘致して頂きたいです。
108	60代	現在山部にある郷土館をこちらへ移転しましたら もっと沢山の市民や観光客の皆さんが 富良野のことに興味を持ってくれると思います 山部はちょっと遠いです 本当は道の駅が良いと思うのですが マルシェがあるので難しいのでしょうか JR利用者も減り 車で訪れるひとたちが多くなりました せっかく北海道のへそがあるのに それを生かす道の駅がないというのはとても残念に思っています それならばせめて郷土館を移転し 市民や観光客がゆっくり食事したりするフードコートのようなものを作り 子供たちが遊べる公園も整備するといいなあとと思います 街中に大きな公園がひとつあると人が集まります 富良野は大きな公園がないような気がします とても広い敷地ですので駐車場も広く取れるでしょう 避難施設にもいいですね 観光客の人たちもマルシェで買い物して こちらでゆっくり休んでというコースもできるのではないのでしょうか あと 以前の文化会館にはあった和室や調理室があると 色々な催しができるのではないかと思います 富良野市以外の学生さんたちの合宿所にもいいですね 資金はかかるでしょうがせっかくのいい場所です 市民のためにもなるいい活用法が生まれることを願っています
109	10代	小さい子供から大人まで安全に楽しめて体が動かして場所が分かれていて幼稚園児から小学生まで中学生から上の人のところがあつたりする建物がいい。
110	10代	子供が放課後に行って楽しめるような室内公園みたいなものを作ったら良いかなと思った。学校のものを利用してお化け屋敷もいいと思う。
112	40代	子供が遊べる場所が圧倒的に少なくて困っている。 へそキッズランドは狭すぎる。 雨でも寒い冬でも思い切りのびのびとあそべる場所を作るべき。 南幌町のはれっばのような場所がほしい。 小中学生がカードゲームをしたり勉強したりする場所もほしい。学童センターを学校の近くに作ってほしい。広くてのびのび遊べる場所がとにかくほしい。カフェも併設しているとありがたい。
113	10代	3歳から15歳ぐらいの人たちが遊べる場をつくり他のスペースに飲食が出来る場所

		やちよつとしたお店を出す
114	20代	体育館を利用して、ボルダリング施設を作って欲しいです。市民の健康維持、子どもの習い事などが期待されます。
115	40代	校庭を開放し冬季に屋外遊びができるようにしてほしい。 小さい子どもも遊べるスノーパークとして整備すれば天気の良い時にはすぐに行ける遊び場になるのでは。 フラノマルシェからも徒歩圏内なので、スキー場へはわざわざ行かないような層の観光客も気軽に立ち寄れるのでは。 また、温室やビニールハウスなどを併設すれば悪天候時の休憩場になり、暖かい日は近隣住民の冬季の憩いの場所になると思う。冬の長い富良野なので日照不足による冬季うつやビタミンD不足対策に気軽に日光浴が出来る場所があれば市民の健康にもつながるのでは。
116	10代	イオンなど、友達と買い物できて、遊べるところがある。 旭川に行けない人が、楽しめるところ。
118	70代以上	市民が気軽に出かけられ、お茶タイム(安く)。 学生が立寄れる所が欲しいです。
119	50代	富良野高校旧校舎の活用についての意見 富良野高校旧校舎の今後の活用について、以下のように提案いたします。 旧校舎の空き教室を、市民が利用できるサークル活動の拠点として開放していただきたいと考えます。特に、バンド・演劇などの文化活動に利用できるようにし、小中学生でも参加しやすい、安価な貸し教室としての運用を希望します。 また、地域の小さな子どもからお年寄りまでが気軽に立ち寄り、ゲームをしたりお茶を飲んだりしながら交流できる憩いの空間も設けていただきたいです。このような場があることで、世代を超えたつながりが生まれ、地域の絆がより深まると思います。 さらに、体育館や廊下、階段なども健康づくりの場として開放し、ウォーキングや軽い運動ができる工夫をお願いしたいです。 そして「演劇のまち富良野」として、演劇やスポーツなどの団体が地方から合宿で訪れられるような簡易宿泊施設としての利用も強く希望します。交流人口の増加にもつながる、魅力的な使い方になると考えます。 以上のように、多世代・多目的で活用できる市民の拠点となるようご検討をお願い申し上げます。
120	40代	子供が遊べる大きな遊び場(有料)を是非作って下さい!! 市役所の遊び場では言い方は悪いですがショボ過ぎます! 恵庭市のような遊び場を是非作って頂きたい! 結果、観光も潤うのではないのでしょうか? 富良野管内は魅力的な子供の遊ぶ場所が少な過ぎます。
121	30代	富良野には、旭川(カムイの杜公園)や南富良野(なんぷアドベンチャーパーク)みたいな大きな子供用の公園がないので是非作って欲しいです。 ホテルなどは建てないで欲しいです。
122	30代	・子供が楽しめる遊具を作る。富良野市には遊具が充実して遊べる公園が少ないので、カムイの杜公園(旭川市)のようなイメージで。 ・体育館の中にスケートボードパークを作る。
124	30代	上記のアンケートの3点も盛り込んでほしいですが 富良野から若い人がどんどん流出してるので 大学や専門学校にしてほしいです。学生として住んでくれたらそこからすみ続けてくれる人もでるかもしれません。 そして学食や図書室を市民も利用できるようにするなどして地域のなかに溶け込んだ学校をつくってほしいです。
125	10代	イオン 市民体育館
126	40代	イオン ホテル ユニクロ、GU 家電量販店 飲食店
127	50代	私も利用したことがあり、とても良かった施設が札幌市にあります。「さっぽろ天神山アートスタジオ」という、アーティスト・イン・レジデンス事業を中心とした文化芸術施設です。この施設は、創造的な活動を行う人々に制作や発表の場を提供す

		<p>るとともに、市民との交流を促進することを目的としています。国内外から招聘または公募されたアーティストが中・長期的に滞在し、制作や研究活動を行うための滞在スタジオ（宿泊施設）を備えていて、一般のホテルより格安で宿泊でき、24時間活動に集中できます。こういった場所が富良野にもあるといいなと数十年前から願っていました。</p> <p>富良野市には文化芸術基本条例がありますし、ぜひその理念を生かし、旧富良野高校跡地を、創作活動を行う人々が「気軽に」富良野の地で活動し、その魅力を発信できる拠点として活用できたら、より一層、富良野の魅力が豊かに膨らむのではないかと思います。</p>
128	10代	いおん スポーツ用品を売っている場所
129	40代	<p>体育館を利用してクライミング(ボルダリング)が出来る施設があればいいと思います。東京オリンピックから正式種目に採用され日本人もメダルを獲得して人気のスポーツです。室内だとできる場所が限られているので(近隣だと旭川や芦別、占冠)なかなか気軽にやる事が出来ません。美唄市には室内に大きなクライミング施設があるのであれぐらいの施設があれば大会も開けるし地域の活性にもつながると思います。</p> <p>クライミングは老若男女、年齢に関係なく出来るスポーツなので需要はあると思います。</p>
130	10代	<p>富良野高校 FCL 同好会のメンバーです。</p> <p>旧富良野高校の校舎を活かして、農業などについて学べる学校に再活用するのはどうですか。</p> <p>学校があれば人も集まると考えました。</p> <p>美味しい野菜とたくさんの自然がある富良野で学ぶことができたらとても良いと思います。</p> <p>また、宿泊施設などに利用するのも良いと思いました。</p>
132	30代	伊達に出来た CHILD HOOD や、tonndemi みたいな子供も大人も楽しめるようなアスレチック施設や、子供が天気関係無く遊べる室内公園、高校生がバス待つ間使えるようなフリースペース。
133	20代	ナチュの森のようなイメージの施設。土日祝日に子供と思いっきり遊べる施設でもあり、平日にも利用したい。博物館や科学館などの展示、体験施設であれば、年齢問わず楽しめる施設。観光客向けではなく、地元民向けであることを望みます。
134	50代	<p>イオン等、大規模商業施設の誘致。</p> <p>帯広の稲田のように、複数の商業施設が集まる場所。</p> <p>旭川へ行かなくても買い物や娯楽を楽しめるようにして欲しい。</p> <p>富良野は利権の塊のような街ですが、既得権益を離れたくない一部のお金持ちをどうにかして下さい。</p>
135	30代	<p>イオンモールみたいなショッピングモールで</p> <p>スターバックスもどきではなく</p> <p>スターバックス</p> <p>丸亀製麺</p> <p>びっくりドンキ</p> <p>などのチェーン店でお昼ご飯難民を解消する場所が欲しい</p> <p>メジャーなチェーン店がきて欲しい</p> <p>みんな富良野にないから旭川に食べに行くのである</p> <p>富良野市民がお金を落とす飲食店を作って欲しい。</p>
136	40代	今は何でもデジタルやITが多く、仮想世界の中で楽しみや仕事をする時代になってしまいました。悪い事では無いのですが、アナログな世界も大切に行くべきです。デジタルとアナログの楽しさ、子供から大人まで楽しめる人との交流も出来る施設をお願いします。ラジコンサーキットなどが維持費用も安く済むので設置していただきたいをお願いします
140	60代	<p>この施設の位置づけとして、子ども中心の施設、市民の生涯学習拠点施設とする。</p> <p>山部の生涯学習センターは博物館に特化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設 <p>屋外は野球場、サッカー場、ラグビー場、国道側の駐車場と駐輪場はスケボー練</p>

		<p>習場</p> <p>屋内は教室の壁を抜いて弓道場 体育館、武道場はスポーツセンターの第二体育館的役割に（武道は今のスポセンサブアリーナ一階からこちらに移動することにより、サブアリーナは弓道場としての活用も可能では）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域展開拠点施設 文化系、スポーツ系の各部活動を集約して行う ・大型児童館的施設 各教室等に様々な遊具等を設置して幼児から小中学生が集える施設。前庭も遊具を設置（南富良野道の駅の屋外施設みたいなもの）。市役所は幼児特化に。 ・各教室は様々な種類のサークル等の活動に対応できる活動拠点に ・災害時の支援物資の保管場所 ・教員住宅敷地は駐車場に ・プールは屋外施設整備車両の格納庫に ・各部屋の施錠はスマホで利用者が操作する。防犯カメラの設置。 ・外壁は、市民から図柄を募集して、国道から施設を見てもワクワクする感じを醸し出すような遊び心のあるものに。
141	50代	<p>子供や高齢者、障がい者や犬・猫などのペットも気軽に集まれる施設 外出しづらい冬期間でも利用できる屋内施設 通学、通勤、買い物、散歩のついでに気軽に立ち寄れる場 地元民も観光客も休憩できる交流の場</p>
142	70代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・キャプテン翼ミュージアムとして利活用。全国に日本文化の漫画、アニメーション資料館美術館が未だ少数のため散逸しつつある ・大学コンソーシアムとして利活用。多数大学が来富しているものの低額宿泊施設無く、大学間或いは大学と市民交流の学びの機会の場も少ないため ・宇宙産業関連企業研究実験棟として利活用。大樹町、赤平市等との連携協力 ・富良野市民大学校として利活用。市民コミュニティ活動の拠点及び他市町村との学びの交流施設
143	40代	<p>駐車場 サンライズパークは近隣企業の従業員の駐車場と化し、車を止められません。街中のアパートを借りようとしたら、駐車場がなくて諦めたこともあります。旧富良野高校は中心部からは少し離れますが、駐車場だけでも使えたと助かります。ベルコの駐車場と等価交換し、ベルコの駐車場を市民用にも開放しても良いかもしれません。</p> <p>アーティストインレジデンス・合宿所 市内ホテルの価格高騰で、気軽に泊まれる宿が少なくなりました。旧富良野高校は川に面し、景観も抜群で、四季折々、創作活動に適した場所と感じます。</p> <p>演劇工場という全国に誇れる素晴らしい劇場がありながら、稼働率も低いため、連動させ、文化を発信する場所になったら、豊岡みたいになれるかも。</p> <p>図書館 今の図書館は古くて暗くて気分が沈むうえ、中心街は一時停止無視の事故が多いし、図書館の駐車場も狭いしで足が遠のいています。 気候が似ているヘルシンキの Oodi みたいな多機能図書館あったら素敵。 活用方法は一つじゃなく、まずは駐車場だけでも開放してもらえたら嬉しいです！</p>
144	70代以上	<p>【私設学校の誘致】現在、札幌市でインターナショナルスクールの開設について市サイドと折衝しているところであるが、一部地域住民から「治安の悪化」「日本を崩壊させる」などの懸念や反発の声があり（ネット、TVからの情報+SNSで拡散）札幌市議会では陳情が継続審査されている。当該「インターナショナルスクール」をぜひ富良野に誘致していただくことはいかががであろうか？JICAのホームタウン構想が頓挫した例もあり、難しい点もあるかと思うが、当方にとってもGOODなことと存じ</p>

		ます。
145	50代	レタス工場や農作業体験など
146	60代	飲食店や福屋さんが立ち並ぶ商業施設
147	10代	プール(1回10円)、校舎は道の駅とホテルに、体育館は子供の遊び場
148	60代	多目的に使える場所。泊まって(合宿)色々体験できる場所。
149	50代	神山まるごと高専とIDEAカレッジのような、中学高校を出てから地元で学べる場づくり。東川町の語学学校やIDEAのように留学生を短期・長期で技術を身に着けると、自分で考え自分でかせぐ人材を育てる。全寮制(看護学校寮を転用)、学費無料(全国企業から寄付を受けて基金で運営)、5年制で20歳までに高等教育が地元でできる。現在の看護学校を富良野高校へ移転、単科からIT、語学、アウトドア、プログラミングなど単位選択可能として、1か月から5年まで(高専、専門学校、各種学校を併設するイメージ)ふらのであれば、アルバイトを兼ねたインターンシップで単位認定される。旧看護学校やテニスコートを売却して校舎改修費用の市の負担を低減させる。
150	50代	高齢者向けの老健施設は申し込んでから数か月待ちになっている。校舎の特徴である横に長い平面は、同じフロアレベルでの水平移動で用が足りるようになるから、教室を複数に区切って高齢者の待機者を減らす用意でき、サービス提供者の体力面での省力化と定員増を実現する。
151	50代	公設民営でコワーキングスペース+スキルアップ研修で企業支援する学びの場。ビズカフェ旭川富良野支店のイメージ。技術的能力をきたえる為に調理、理科室等を再利用し、スタート時期の起業家が共同利用できるシェアオフィスとする。
152	50代	職業訓練校の現代版。作業室が複数あるのをそのまま再利用できるから、新しく建設するより安上がりになる。
153	50代	博物館をふらの高校跡に移設することで、学びの場の目的を実現する。旧農業高校跡は、アウトドアの更衣室や待機場所として広く使ってもらう。
154	50代	外国人で一定期間(例1か月)以上の長期で入ってきた人々への、日本語研修、技能実習、インターンシップで受け入れ先との協力で、外国人を安く暮らせる宿舎にリノベーションする。運営は市立看護学校の間口を増やして、割安に研修させる。
155	50代	小テナントが並びテナントと共存する(例イオンスーパーセンターにいろんなブランドが併設され、冬季にも外へ出ること無く快適にさせるテナントビル)
156	50代	ボンチパウダーや山部博物館の研究展示施設をまちなかへ移し、せっかくのレガシーが多くの人々に学んでもらえるよう研究+博物館に利用する。
157	50代	イオンモールを作り、富良野圏域の中心の賑わいとする。ショッピングセンターへ行くこと自体がレジャーです。
158	50代	空知川沿いから入れば、国道の車両が多い道を使わず高校跡まで出入りできるサイクルツーリズム、川遊び終点として校舎体育館を使って、バラバラな個人事業主を管理しやすいよう拠点化する。緑町から鉄路跡を使うサイクリングロードへ接続する。
159	50代	トモールや芦別夕張など多くのまちでも有る、廃校利用の学習宿泊研修へリノベして活用。車運転できなくてもほとんど歩いて用事できる。